

「み言葉によって生きる」

ルカの福音書 4 章 1～13 節

姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』

(マタイの福音書 4 章 4 節、新改訳)

◎ 「一年の計は元旦にあり」とあります。今年的一年間み言葉に聴き、み言葉によって生きることを追い求めましょう。

◎ ルカの福音書 4 章 1～13 節の主題は「悪魔の誘惑」で、マタイ 4 章 1～11 節、マルコ 1 章 12～13 節も同じ記事です。この箇所からイエス・キリスト御自身を仰がせて頂きましょう。

1、御霊の導きに従われたイエス

イエス・キリストは洗礼者ヨハネから受洗された時、聖霊に満たされ、「あなたは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」との神様のみ声を聞かれたのです。その後、イエス・キリストは「御霊に導かれ」て荒野で、悪魔の試みを受けられたのです（ルカ、マタイ）。「御霊はイエスを荒野に追いやられた（引き回された、新共同訳）」のです（マルコ）。イエス・キリストの第一歩は「御霊の導きに従う」ことであつたので、そこが荒野であろうとなかろうと時と場合に関係なく、神様の導きに従う事を第一とされたのです。私たちの歩みも日毎に自分の考えで行動するのではなく、神様の導きに従うことを第一にしたいものです。

2、誘惑に対する勝利～み言葉に立つ～

そこでイエス・キリストは「40 日間、悪魔の試みに会われた。その間何も食わず、その時が終わると、空腹を覚えられた」のです。その時に悪魔が第一に「あなたが神の子ならこの石に、パンになれと言いつけなさい」と迫ったのです。即ち「パンの誘惑」です。第二は「もしあなたが私を拝むなら、すべてをあなたのものとしませう」と求めたのです。即ち「権力と繁栄の誘惑」です。第三は「あなたが神の子ならここから飛び降りなさい」と聖書の言葉を引用しながらけしかけたのです。即ち「魅惑的なものの誘惑」です。それらの誘惑に対し、イエス・キリストは聖書のみ言葉（何れも申命記）によって勝利を得られたのです。一、「人はパンだけで生きるのではない」（8 章 3 節）。二、「あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えなさい」（6 章 13 節）。三、「あなたの神である主を試みてはならない」（6 章 16 節）。それだけイエス・キリストは聖書に精通され、御言葉に生きておられたのです。私たちも是非聖書を通読し、み言葉に養われ、生かされたいものです。

3、アダムとエバの失敗

アダムとエバは蛇の誘惑に敗北し、人類に罪が入ったのです。それは第一に、神様の言葉を真実に受け入れなかった事によるのです。神様は「しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを食べる時あなたは必ず死ぬ」と言われました（創世記2章16,17節）。しかしエバは「あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたは死ぬといけないからだ」と答え（同3章3節）、そこを悪魔につけ込まれたのです。第二に、木の実を見た時に「食べるのに良く、目に麗しく、賢くする」のに好ましく覚え、神様のみ言葉に背き罪を犯す結果となったのです（同6節）。

4、イスラエルの失敗

神様はメシヤの誕生と全人類に神の恵みを知らせる器としてイスラエルの民を選び、奴隷の地エジプトから救出されたのです。それにもかかわらず、イスラエルの民は荒野での旅路において「パンがない」、「水がない」と呟き、また「偶像を造り、拝んだ」のです。その結果、使命を果たせないばかりか、神様の御心に適うことも出来ず、失格したのです。

5、その失敗を贖われた主イエス

しかし真の救い主であられるイエス・キリストは、アダムとエバも、イスラエルの民も失敗した同じ誘惑に遭われながらも、それらの誘惑にみ言葉によって勝利を得られ、生涯罪を犯されることなく、十字架による贖いのみ業を完成されたのです。

6、今日のキリスト者に対して

サタンは今でも「すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢」等によって誘惑してくるのです（ヨハネ第一2章16,17節）。「最初のアダム」の違反によってすべての人が罪に定められ、死に至ったと同様に「ひとりの義人」（最後のアダムであるイエス・キリスト）によって義と認められ、いのちに至らせる救いが成就したのです（ローマ5章14～18節、コリント第一15章45節）。まさに「神の子が現れたのは悪魔のしわざを打ちこわすため」です（ヨハネ第一3章8節）。イエス・キリストの贖いの故に救われ生かされている私たちは、更にみ言葉によって勝利せられたイエス・キリストに信頼し、そのみ言葉に生かされ、尊い証し人としての生涯を貫かせて頂きましょう。柘植不知人先生は真実にみ言葉に聴き、み言葉に信頼し、み言葉に立って歩まれた先生であられたことを覚えます。その先生の信仰を慕う私たち自身も真実にみ言葉に聴き、信頼して歩ませていただきます。

（姫路あけぼの教会牧師）